

強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会①研修会報告書

1. 日 時 令和5年4月16日（日） 9時～16時
2. 場 所 よつ葉アリーナ十勝 研修室 AB
3. 参加者 講師：村山 尚哉（HKFA 審判委員会指導者部、1級審判インストラクター）
 受講者：【集合参加】 山下浩司、橋本和明、氏家克仁、砂川邦裕、鈴木堅之、森宏介、渡部学
 【ZOOM参加】 今川一輔、柴田靖士、藤井審判委員長
 【オブザーバー参加】 山崎裕彦 RDO、三上正一郎 1級審判員
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
 講義① ・試合後のフィードバック ・審判員への質問の仕方について ・アセスメントレポートの手引きについて
 ・アセスメントについて（再確認） ・今シーズン引き続きお願いしたいこと
 講義② ・強化指定審判員に求めるもの
 講義③ ・現役 1 級審判員として

シーズンのはじめにあたり強化指定審判員担当インストラクターの研修会が行われました。講義①では、審判員への質問の仕方について、ただ質問をするだけではなく、質問の先にあるゴールに結びつけた質問の仕方が大事であり、そのためには私たちインストラクターがゴールを持っていないかならなければならぬことを改めて考えました。今シーズンも引き続き、個々の事象だけではなく、全体のコントロールをみてレポートを書く必要があることも共通の認識として確認できました。講義②では強化指定審判員に求めるものとして「判定」・「ポジショニング」・「マネジメント」・「パーソナリティ」の各項目について意識の共有ができました。藤井委員長からは「北海道から1級を」ではなく、「北海道から「Jリーグ主審を」」輩出する目標を熱く語っていただきました。その一端を担うインストラクターも責任は重大と気持ちを引き締めることができました。現役1級審判員として、三上さんからも講義を行っていただきました。その立場からインストラクターには良いものは良い、悪いものは悪いと素直に伝えてもらいたい事。また、何も無い試合だったのか、何も無いように小さなことをさりげなく行ったのかを見て欲しい。ということ伝えていただきました。



山崎 RDO からは Ready = 『Respect, empathy, awareness, determine, yourself』のマインド。そして予期・予測によって、より良いポジションがとれるというお話をしていただきました。時に難しく、時に楽しくディスカッションをしながら理解を深めていき、特に今回は様々な立場の方からの講義があり、非常に深く濃い研修会になりました。これらのことを活かし、今シーズンもインストラクターとして活動していくことをお互い確認し解散しました。皆さま、ありがとうございました。

